

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 九州財務局長

【提出日】 平成25年2月12日

【四半期会計期間】 第17期第2四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）

【会社名】 株式会社ビューティ花壇

【英訳名】 Beauty Kadan Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三島 美佐夫

【本店の所在の場所】 熊本県熊本市南区流通団地1丁目46番地

【電話番号】 096-370-0004

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 須浪 薫

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国4-31-16

【電話番号】 03-5625-4344

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 須浪 薫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第2四半期連結 累計期間	第17期 第2四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日
売上高 (千円)	2,094,530	2,420,978	4,436,339
経常利益 (千円)	30,729	45,404	155,101
四半期(当期)純利益又は四 半期純損失() (千円)	3,708	4,055	123,563
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	6,365	4,694	125,224
純資産額 (千円)	494,256	605,513	637,883
総資産額 (千円)	1,689,413	2,492,472	2,309,157
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり四 半期純損失金額() (円)	174.82	194.22	5,863.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.3	21.0	24.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	32,196	259,496	233,842
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	227,144	68,885	240,778
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	29,545	27,800	31,553
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	342,062	743,336	528,677

回次	第16期 第2四半期 連結会計期間	第17期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	756.03	338.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。また、12月26日発足した安倍内閣が掲げる経済政策への期待感が先行し、後半にかけては円安、株高へと推移しました。しかしながら、増税や雇用不安などにより依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社は、このような状況の中、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。全社基本方針として新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大、徹底的な経費削減を推進してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,420,978千円(前年同期比15.6%増)、営業利益は42,313千円(前年同期比20.3%増)、経常利益は45,404千円(前年同期比47.8%増)、四半期純損失は4,055千円(前年同期は3,708千円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,534,407千円(前年同期比1.4%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成24年7月から平成24年11月までの売上高は233,902百万円(前年同期比1.2%増)、取扱件数は164,688件(前年同期比2.2%増)と金額ベース、件数ベースともに増加傾向にあります(同調査は、平成24年1月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成23年12月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は196,263千円(前年同期比49.2%増)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、442,431千円(前年同期比9.7%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成24年12月)によると、平成24年7月から平成24年12月までの切花累計の取扱数量は483百万本(前年同期比0.6%減)、金額では29,884百万円(前年同期比1.2%減)となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、売上高、売上数量ともに増加傾向にありましたが、主力の生花祭壇事業における取扱数量の減少、また、輸入比率の上昇に伴う荷造運賃の増加により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は77,749千円(前年同期比7.0%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、145,645千円(前年同期比7.9%増)となりました。結婚式場業は少子化と晩婚化の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成24年6月から平成24年11月までの結婚式場業の売上高は81,903百万円(前年同期比3.8%減)、取扱件数は27,443件(前年同期比5.5%減)と減少傾向にあります。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップにより、営業利益は22,344千円(前年同期比83.1%増)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建設事業は、熊本市内及びその近郊にて事業をおこなっております。熊本県内の近年の工事の内容を見ると民間発注工事の落ち込みが著しく、公共工事は微増であります。熊本県は火山、白川、緑川と大きな河川があり、自然災害に備える維持、修繕工事は今後暫く堅調に推移をするものと思われれます。また、公共工事の特性上、工事の発注・完成時期が3月頃に集中し、9月までは閑散時期にあたります。この結果、土木・建設事業の売上高は195,843千円、営業損失は7,348千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業を行っております。売上高は102,650千円、営業損失は7,110千円となりました。当事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ183,315千円増加し2,492,472千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ190,698千円増加し、1,399,963千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,383千円減少し1,092,508千円となりました。これは主に、減価償却によるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ215,684千円増加し、1,886,958千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ342,943千円増加し、1,298,237千円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ127,258千円減少し、588,721千円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ32,370千円減少し、605,513千円となりました。これは主に、配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ214,658千円増加し、743,336千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は259,496千円（前年同期は32,196千円の獲得）となりました。これは主に、仕入債務の増加額58,990千円と未成工事受入金の増加額68,501千円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は68,885千円（前年同期は227,144千円の使用）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出37,000千円、有形及び無形固定資産の取得による支出40,961千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は27,800千円（前年同期は29,545千円の獲得）となりました。これは主に、借入金の純増82,965千円の方で、配当金の支払額37,067千円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	88,000
計	88,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,380	25,380	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	25,380	25,380		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	25,380	-	213,240	-	133,240

(6) 【大株主の状況】

平成24年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三島 美佐夫	熊本県熊本市中央区	9,523	37.52
ビューティ花壇従業員持株会	熊本県熊本市南区流通団地 1 丁目46番	1,003	3.95
三島 志子	熊本県熊本市東区	600	2.36
清水 康	東京都港区	500	1.97
松井 亮介	東京都世田谷区	372	1.47
水野 裕是	東京都練馬区	370	1.46
株式会社河野メリクロン	徳島県美馬市脇町大字北庄562 - 1	344	1.36
常松 淳司	滋賀県近江八幡市	232	0.91
河野 通郎	徳島県美馬市	231	0.91
畑 美智子	奈良県桜井市	225	0.89
計		13,400	52.79

(注) 上記のほか当社所有の自己株式4,497株(17.72%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,497	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,883	20,883	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
発行済株式総数	25,380	-	-
総株主の議決権	-	20,883	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ビューティ花壇	熊本県熊本市南区流通団地 1 丁目46番地	4,497		4,497	17.72
計		4,497		4,497	17.72

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人よつば総合事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	528,677	743,336
受取手形及び売掛金	464,480	514,157
完成工事未収入金	108,996	8,540
商品	5,452	4,078
仕掛品	1,225	4,517
原材料及び貯蔵品	20,671	28,258
未成工事支出金	62	1,840
その他	88,548	105,359
貸倒引当金	8,849	10,124
流動資産合計	1,209,265	1,399,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,077	422,469
減価償却累計額	173,044	164,423
建物及び構築物(純額)	266,032	258,045
工具、器具及び備品	203,510	179,489
減価償却累計額	141,412	127,184
工具、器具及び備品(純額)	62,098	52,304
土地	298,977	298,977
その他	142,206	165,788
減価償却累計額	62,356	79,593
その他(純額)	79,849	86,194
有形固定資産合計	706,958	695,522
無形固定資産		
のれん	74,384	69,071
その他	7,525	11,820
無形固定資産合計	81,910	80,892
投資その他の資産		
その他	352,465	356,155
貸倒引当金	41,442	40,061
投資その他の資産合計	311,023	316,093
固定資産合計	1,099,891	1,092,508
資産合計	2,309,157	2,492,472

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,550	129,368
短期借入金	158,890	270,000
1年内返済予定の長期借入金	334,072	416,180
未払法人税等	38,995	37,583
賞与引当金	1,260	9,335
その他	315,525	435,768
流動負債合計	955,294	1,298,237
固定負債		
社債	65,000	50,000
長期借入金	604,773	494,520
退職給付引当金	23,552	24,755
その他	22,654	19,445
固定負債合計	715,979	588,721
負債合計	1,671,274	1,886,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	389,589	348,466
自己株式	161,503	161,503
株主資本合計	574,565	533,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,556	86
為替換算調整勘定	8,241	11,099
その他の包括利益累計額合計	6,684	11,013
少数株主持分	70,002	83,084
純資産合計	637,883	605,513
負債純資産合計	2,309,157	2,492,472

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,094,530	2,420,978
売上原価	1,743,791	1,924,601
売上総利益	350,739	496,376
販売費及び一般管理費	1 315,555	1 454,063
営業利益	35,184	42,313
営業外収益		
受取利息及び配当金	190	319
受取賃貸料	5,256	5,784
為替差益	428	-
その他	1,594	11,850
営業外収益合計	7,469	17,954
営業外費用		
支払利息	5,031	8,007
貸倒引当金繰入額	3,150	-
不動産賃貸費用	2,100	2,036
為替差損	-	3,548
その他	1,641	1,271
営業外費用合計	11,924	14,863
経常利益	30,729	45,404
特別損失		
固定資産除却損	14,875	9,460
その他	-	1,909
特別損失合計	14,875	11,370
税金等調整前四半期純利益	15,853	34,034
法人税、住民税及び事業税	12,404	25,678
法人税等調整額	3,806	3,525
法人税等合計	16,210	22,152
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	357	11,882
少数株主利益又は少数株主損失()	4,066	15,938
四半期純利益又は四半期純損失()	3,708	4,055

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	357	11,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	1,470
為替換算調整勘定	6,008	5,717
その他の包括利益合計	6,008	7,187
四半期包括利益	6,365	4,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	704	8,384
少数株主に係る四半期包括利益	7,070	13,079

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,853	34,034
減価償却費	28,035	38,684
のれん償却額	-	5,313
差入保証金償却額	379	1,896
長期前払費用償却額	5,090	5,079
貸倒引当金の増減額(は減少)	11,875	559
賞与引当金の増減額(は減少)	-	8,075
退職給付引当金の増減額(は減少)	809	1,203
受取利息及び受取配当金	190	319
受取賃貸料	5,256	5,784
補助金収入	420	3,099
支払利息	5,031	8,007
固定資産除売却損益(は益)	14,875	9,460
売上債権の増減額(は増加)	46,809	47,941
たな卸資産の増減額(は増加)	15,281	11,283
その他の資産の増減額(は増加)	3,665	7,539
仕入債務の増減額(は減少)	24,159	58,990
未成工事受入金の増減額(は減少)	-	68,501
その他の負債の増減額(は減少)	30,308	24,477
その他	4,319	780
小計	69,116	284,980
利息及び配当金の受取額	190	319
賃貸料の受取額	3,915	4,508
補助金の受取額	420	3,099
利息の支払額	4,425	6,629
法人税等の支払額	37,020	26,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,196	259,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	-	2,000
貸付金の回収による収入	2,884	2,369
関係会社株式の取得による支出	-	37,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	229,984	40,961
投資有価証券の取得による支出	-	1,000
投資有価証券の売却による収入	-	3,728
保険積立金の積立による支出	17,459	17,691
保険積立金の払戻による収入	-	4,423
差入保証金の差入による支出	1,376	723
差入保証金の回収による収入	19,671	19,841
投資その他の資産の増減額(は増加)	879	127

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	227,144	68,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	215,000	360,000
短期借入金の返済による支出	90,500	248,890
長期借入れによる収入	100,000	320,000
長期借入金の返済による支出	98,180	348,145
社債の償還による支出	35,000	15,000
配当金の支払額	42,696	37,067
自己株式の取得による支出	15,687	-
その他	3,390	3,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,545	27,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,346	3,753
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	173,748	214,658
現金及び現金同等物の期首残高	515,811	528,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	342,062	743,336

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
給料手当	94,699千円	136,022千円
退職給付引当金繰入額	649千円	3,158千円
賞与引当金繰入額		745千円
貸倒引当金繰入額	8,725千円	629千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
現金及び預金勘定	342,062千円	743,336千円
現金及び現金同等物	342,062千円	743,336千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	42,696	2,000	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	37,067	1,775	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	プライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,556,383	403,162	134,984	2,094,530	-	2,094,530
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	473,214	4,601	477,816	477,816	-
計	1,556,383	876,377	139,585	2,572,346	477,816	2,094,530
セグメント利益又は損 失()	131,584	83,642	12,206	227,433	192,249	35,184

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 192,249千円には、セグメント間取引消去1,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 193,475千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに所属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	プライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,534,407	442,431	145,645	195,843	2,318,327	102,650	-	2,420,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高		448,587	4,246		452,834	10	452,844	
計	1,534,407	891,019	149,891	195,843	2,771,162	102,660	452,844	2,420,978
セグメント利益又は損 失()	196,263	77,749	22,344	7,348	289,008	7,110	239,585	42,313

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 239,585千円には、セグメント間取引消去 17,603千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 221,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに所属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(円)	174.82	194.22
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	3,708	4,055
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	3,708	4,055
期中平均株式数(株)	21,216	20,883

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月12日

株式会社ビューティ花壇
取締役会 御中

監査法人よつば総合事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 神門 剛 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高屋 友宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティ花壇の平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティ花壇及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。